

報告事項 1. 2018年度事業報告

I 会員の異動状況

(2019年3月31日)

1. 会員の異動状況	前年度末	入会・就任	退会・退任	物故者	現在数
(1) 正会員	26,418 名	649 名	317 名	40 名	26,710 名
(1の内) 名誉会員	36 名	2 名	0 名	1 名	37 名
(1の内) 特別会員	52 名	4 名	0 名	2 名	54 名
(1の内) 国際名誉会員	43 名	0 名	0 名	1 名	42 名
(1の内) 功労会員	0 名	14 名	0 名	0 名	14 名
(1の内) FJCS会員	0 名	340 名	0 名	0 名	340 名
(2) 準会員	561 名	111 名	59 名	0 名	613 名
(3) 賛助会員(法人)	57 名	0 名	4 名	—	53 名

2. 役員・職員の異動	前年度末	入会・就任	退会・退任	物故者	現在数
(1) 理 事	30 名	32 名	30 名	0 名	32 名
(2) 監 事	2 名	2 名	2 名	0 名	2 名
(3) 社 員	283 名	13 名	13 名	0 名	283 名
(4) 事務局職員	22 名	2 名	2 名	0 名	22 名

3. 国際名誉会員

Piero Anversa (USA)	Peter Ganz (USA)	Fausto J. Pinto (Portugal)
Jong-Hoa Bae (Korea)	William Grossman (USA)	John Ross Jr (USA)
Eugene Braunwald (USA)	Tsui-Lieh Hsu (Taiwan)	Christine E. Seidman (USA)
A. John Camm (UK)	David T Kelly (Australia)	Patrick W. Serruys (Netherlands)
Jay N. Cohn (USA)	Spencer B. King III (USA)	Pravin M. Shah (USA)
Mark A. Creager (USA)	Michel Komajda (France)	Shahryar A Sheikh (Pakistan)
Alain Cribier (France)	Peter Libby (USA)	Sidney C. Smith, Jr (USA)
Anthony N. DeMaria (USA)	Thomas F. Luscher (Switzerland)	Karl Swedberg (Sweden)
Victor J. Dzau (USA)	Giuseppe Mancina (Italy)	A. Jamil Tajik (USA)
Murray Esler (Australia)	William John McKenna (UK)	Stephen F. Vatner (USA)
Harvey Feigenbaum (USA)	Steven E. Nissen (USA)	Finn Waagstein (Sweden)
Roberto Ferrari (Italy)	Ock-Kyu Park (Korea)	James T Willerson III (USA)
Kim Fox (UK)	Seung-Jung Park (Korea)	Huo Yong (China)
Valentin Fuster (USA)	Young-Bae Park (Korea)	Salim Yusuf (USA)

4. 物故会員(敬称略)

(1) 名誉会員	原岡 昭一				
(2) 特別会員	戸山 靖一	三浦 傳			
(3) 一般会員	天野 純	池田 信男	岩橋 宏	岩谷 良政	海老根東雄
	大西 修作	織田 明伸	小野清四郎	勝目 紘	加藤 敦
	久木 真理	久保 英三	熊谷 俊一	佐々木信博	佐藤 廣
	沢田 健	嶋元 徹	高橋由布子	高宮 隆俊	近森 淳二
	富川 知哉	中島 知徳	中村 衛	西 仁勇	鼠尾 祥三
	野口 晃司	畠添 敏光	久松 三生	藤井 潤	舩松 洋
	真辺 豊	村上 陽	山下 二郎	山本 憲彦	山本 章
	由井 靖子	若林 章			

II 会議の事項

(1) 第82回社員総会	: 2018年6月29日	東京都	・JPタワーホール&カンファレンス
(2) 理事会	: 2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2018年9月21日	東京都	・東京国際フォーラム
	2018年12月14日	東京都	・東京国際フォーラム
	2019年3月28日	神奈川県	・パシフィコ横浜
(3) 将来構想検討委員会	: 2018年5月23日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2018年7月27日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2018年10月31日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2019年3月1日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(4) 基本法対策推進委員会	: 2018年8月6日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(5) 支部長会議	: 2018年9月21日	東京都	・東京国際フォーラム
(6) 総務委員会	: 2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2018年9月21日	東京都	・東京国際フォーラム
	2018年12月14日	東京都	・東京国際フォーラム
	2019年3月28日	神奈川県	・パシフィコ横浜
・情報広報部会	2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2018年9月7日	大阪府	・リーガロイヤルホテル大阪タワーウィング
	2018年12月4日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
・新システム構築検討部会	2019年3月22日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
	2018年4月13日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
	2018年5月30日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
	2018年7月25日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
	2018年8月20日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
	2018年9月10日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
	2018年11月28日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
	2019年1月29日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
	2019年2月27日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
	2019年3月15日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
・5カ年計画検討部会	2018年7月12日	大阪府	・新大阪ラーニングスクエアビル
・SWG全体会議	2018年10月8日	大阪府	・新大阪ラーニングスクエアビル
(7) 財務/予算委員会	: 2018年6月7日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2018年9月5日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2018年12月12日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2019年3月13日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(8) 倫理委員会	: 2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2018年9月21日	東京都	・東京国際フォーラム
	2018年12月14日	東京都	・東京国際フォーラム
	2019年3月28日	神奈川県	・パシフィコ横浜
・医療安全部会	(開催無し)		
・研究倫理審査委員会	2018年6月7日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2018年8月9日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(9) 利益相反委員会	: (開催無し)		
(10) ダイバーシティ推進委員会	: 2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2018年9月26日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2018年12月8日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2019年3月28日	神奈川県	・パシフィコ横浜
(11) 医道委員会	: (開催無し)		
(12) 学術委員会	: 2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2018年9月21日	東京都	・東京国際フォーラム
	2018年12月14日	東京都	・東京国際フォーラム
	2019年3月28日	神奈川県	・パシフィコ横浜
・ガイドライン部会	2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2018年9月8日	大阪府	・リーガロイヤルホテル大阪
	2018年11月27日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2019年3月4日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
・IT/Database部会	2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2018年9月17日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2018年11月25日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2019年3月8日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
・JROAD研究利用審査検討会	2019年3月8日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
・デバイス部会	(開催無し)		
・Mitra Clip使用要件等基準策定審査機構	2019年3月30日	神奈川県	・パシフィコ横浜
・舌下神経電気刺激装置使用要件等基準策定ワーキング	2018年11月21日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局

	・ 経皮的左心可開鎖デバイス使用要件等基準策定ワーキング	2019年 2 月12日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	・ 用語部会	2018年11月 1 日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	・ 心臓血管外科部会	2018年 9 月19日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	・ 小児成人先天性心疾患部会	(開催無し)		
		2018年 6 月15日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
		2018年 9 月 7 日	大阪府	・ リーガロイヤルホテル大阪
		2018年12月 3 日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
		2019年 3 月 4 日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	・ 先天性心疾患の移行医療に関する横断的検討会	2018年11月25日	東京都	・ AP東京八重洲通り
		2019年 3 月18日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	・ BCVR基礎研究部会	2018年11月16日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	・ BPAワーキング	2018年 5 月27日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
		2018年12月11日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
		2019年 2 月12日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(13)	編集委員会	2018年 6 月 8 日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
		2018年 9 月21日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2018年12月14日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2019年 3 月28日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
	・ 国際編集会議@AHA2018シカゴ	2019年11月11日	アメリカ	・ シカゴHyattRegency McCormick Place
	・ CJCR合同拡大編集会議	2019年 3 月30日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
(14)	学術集会運営委員会	2018年 6 月 8 日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
		2018年 9 月20日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2018年12月13日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
		2019年 3 月28日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
	・ 学術集会プログラム部会	2018年 9 月21日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2019年 2 月23日	大阪府	・ 新大阪ブリックビル
	分科会：外科、弁膜症	2018年10月 3 日	東京都	・ ザ・プリンス さくらタワー東京
	分科会：基礎ゲノム再生	2018年10月10日	東京都	・ TKP新宿モノリス カンファレンスセンター
	分科会：心不全心筋症移植	2018年10月10日	東京都	・ TKP新宿モノリス カンファレンスセンター
	分科会：小児・成人先天性心疾患、女性、肺循環	2018年10月10日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	分科会：不整脈	2018年10月11日	東京都	・ TKP新宿モノリス カンファレンスセンター
	分科会：予防、リハビリ、(高血圧、糖尿病動脈硬化、腎臓)	2018年10月11日	東京都	・ TKP新宿モノリス カンファレンスセンター
	分科会：画像、(エコー・MRI・CT)	2018年10月11日	東京都	・ TKP新宿モノリス カンファレンスセンター
	分科会：救急、医療政策、臨床腫瘍、その他	2018年10月14日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	分科会：脳卒中、大動脈、末梢循環	2018年10月21日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	分科会：虚血、動脈硬化	2018年10月26日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(15)	渉外委員会(国際)	2018年 6 月 8 日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
		2018年 9 月21日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2018年12月14日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2019年 3 月28日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
(16)	渉外委員会(国内)	2018年 6 月 8 日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
		2018年 9 月21日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2018年12月14日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2019年 3 月28日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
(17)	予防委員会	2018年 4 月15日	京都府	・ メルパルク京都
		2018年 9 月30日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	・ 禁煙推進部会	2018年 6 月 8 日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
		2018年 9 月14日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
		2018年12月10日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
		2019年 3 月11日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局(Web会議)
(18)	健保対策委員会	2018年 6 月 8 日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
		2018年 8 月 3 日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
		2018年 9 月21日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2018年11月23日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
		2018年12月14日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2019年 3 月28日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
(19)	心臓移植委員会	2018年 6 月 8 日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
		2018年 9 月21日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2018年12月14日	東京都	・ 東京国際フォーラム
		2019年 3 月28日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
	・ 心臓移植適応検討部会	(Webで随時対応)		
	・ 植込み型VAD事後検証部会	(Webで随時対応)		
	・ 心肺同時移植適応検討部会	(Webで随時対応)		
	・ 心臓移植実施施設部会	2018年10月12日	東京都	・ 京王プラザホテル

	・自施設内適応審査部会	(Webで随時対応)			
	・心臓移植事後検証部会	(開催無し)			
(20)	災害対策委員会	： 2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京	
		2018年9月21日	東京都	・東京国際フォーラム	
		2018年12月14日	東京都	・東京国際フォーラム	
		2019年3月28日	神奈川県	・パシフィコ横浜	
(21)	専門医制度委員会	： 2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京	
		2018年9月8日	大阪府	・大阪国際会議場	
		2018年9月20日	東京都	・東京国際フォーラム	
		2018年12月14日	東京都	・東京国際フォーラム	
		2019年3月28日	神奈川県	・パシフィコ横浜	
	・認定試験部会	2018年9月20日	東京都	・東京国際フォーラム	
	・専門医編集部会	(メールにて開催)			
	・専門医実務部会	2018年4月14日	京都府	・ザ ロイヤルパークホテル 京都三条	
		2018年4月22日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2018年5月26日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2018年9月8日	大阪府	・大阪国際会議場	
	・新専門医制度検討構築部会	2018年5月26日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2018年8月16日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2018年11月21日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2019年2月21日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
(22)	教育研修/集中救急委員会	： 2018年9月21日	東京都	・東京国際フォーラム	
		2018年12月14日	東京都	・東京国際フォーラム	
		2019年3月28日	神奈川県	・パシフィコ横浜	
	・教育研修部会	2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京	
		2018年9月5日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2019年3月7日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
	・集中・救急医療部会	2018年12月6日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2019年3月24日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
	・蘇生教育検討会	毎月一回開催	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局 (Web会議)	
	・救急啓発検討会	2018年5月18日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2018年7月6日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2018年11月30日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2019年2月27日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
	・蘇生科学検討会	2019年3月6日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2018年9月7日	大阪府	・大阪大学中之島センター	
		2019年3月30日	神奈川県	・パシフィコ横浜	
	・救急医療制度検討会	2019年1月22日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
		2019年2月5日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	
	・チーム医療部会	2018年6月8日	東京都	・ステーションコンファレンス東京	
		2018年9月11日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局	

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

(1)研究会・学術講演会の開催事業

1. 第83回日本循環器学会学術集会(JCS2019)

① 会期：2019年3月29日(金)～31日(日)

会長：小室 一成(東京大学循環器内科学)

会場：パシフィコ横浜

メインテーマ：循環器病学Renaissance
－未来医療への処方箋

② プログラム

■一般演題

(口述, ポスター, Featured Research Session)

■美甘レクチャー：Napoleone Ferrara

(University of California, San Diego, USA)

■真下記念講演：宮園 浩平(東京大学分子病理学)

■会長講演：小室 一成(東京大学循環器内科学)

■代表理事講演：小室 一成(東京大学循環器内科学)

■会長特別講演

■特別講演

■プレナリーセッション

■シンポジウム

■日本心臓財団設立50年記念シンポジウム

■横浜宣言 心臓を守って健康長寿！

■会長特別企画

- ・心原性の脳塞栓症予防の最前線
- ・不整脈診断・治療の現状を基礎と臨床から超越する
- ・心不全における多角的画像診断の活用
- ・チャネル変容から心病態に迫る
- ・左心耳閉鎖術の基礎と応用
- ・医療機器のこれからのイノベーション
- ・ゲノム科学・ゲノム医療の最前線
- ・女性循環器医の妊娠・出産、その後―新時代にむけて
- ・遺伝性大動脈瘤・解離の分子医学
- ・循環器病征圧へ向けた我が国の課題と対策
- ・循環器病に対する分子標的治療
- ・循環器内科医のキャリアパス
- ・AMED(ゲノムプロジェクト)：多因子疾患におけるゲノム医療の実現を目指して
- ・AMED-CREST(メカノバイオロジー)：循環器におけるメカノバイオロジー研究の最前線
- ・我が国で発見された循環器疾患
- ・厚生労働省事業
- ・循環器病予防のための学会横断的なアプローチ
- ・Mitral Club
- ・ドクターJCS アジアチャンピオンシップ
- ・Breakthroughにつながる循環器臨床研究の提案
- ・Editor-in-Chief
- ・学会と患者会の新しい関係～繋がり共に歩む
- ・Digital Medicine
- ・重症心不全VAD Wet Lab

■ジョイントシンポジウム

(AHA, ACC, ESC, KSC, CSC, APSC)

■ラウンドテーブルディスカッション

■トピック

■コントロールシー

■ミート・ザ・エキスパート

■モーニングレクチャー

■Late Breaking Clinical Trials

■Late Breaking Cohort Studies

■第47回循環器教育セッション

■日本心臓財団佐藤賞記念講演

■審査講演会

・YIA Clinical research部門審査講演

・YIA Basic research部門審査講演

・国際留学生YIA 審査講演

・第9回コメディカル賞審査講演会

■ガイドラインに学ぶ

■症例から学ぶガイドラインセミナー

■第1回海外留学ネットワークングセミナー

■第3回医療安全に関する講演会

■第3回倫理に関する講演会

■第18回禁煙推進セミナー

■日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

■女性循環器医師コンソーシアムセッション

■Circulation Journal Award Session

■チーム医療セッション

(教育講演, シンポジウム, 一般演題, コメディカル賞審査講演会)

■市民公開講座

心臓病・血管病を予防して健康長寿～

■第17回心肺蘇生法合同市民公開講座

■サテライトセミナー(ランチョンセミナー, コーヒーブレイクセミナー, ファイアサイドセミナー)

■機器・書籍展示

③ プレレジストレーション

学術集会参加者向けに、参加登録、教育セッション、ランチョンセミナー・コーヒーブレイクセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションをオンライン上で行った。

④ 印刷物・製作物

プログラム集(通常版とHANDY版)、電子抄録アプリ、教育セッションテキスト、企業展示ガイドブック、ピンバッジ、英文パンフレットを作成した。アプリを利用したツイート、アンサーパッドセッションの開催や、アプリから共催セミナーの申し込み受付ができるシステムの利用を開始した。

⑤ My Abstracts

抄録演題・チーム医療セッション・共催セミナー抄録を検索し、必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行った。

⑥ トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者に支給した。支給金額は中国、香港、台湾、韓国は5万円、その他の国は10万円とした。

- ⑦ 発表データプレエントリー
学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「発表データプレエントリーシステム」を公開した。
- ⑧ 託児室
英語対応可能な無料託児室を設置した。
- ⑨ 各種サービス
FJCSルーム・救護室・AED・ドリンクサービスを設置した。
- ⑩ ファミリー向けイベント
みなとみらい駅の広場で循環器の歴史パネル展示やカテーテルなどの機器を設置し、市民が循環器に関する知識を得られる場を提供した。
- ⑪ プレスルーム
会場にプレスルームを設け、注目セッションの記者発表を行った。
- ⑫ 学会賞
 - ・第44回日本心臓財団佐藤賞
選考委員長
小室 一成(東京大学循環器内科学)
受賞者
朝野 仁裕(大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学講座)
難治性循環器疾患のオミックス解析による病態分子機序解明と診断法および創薬開発
 - ・第36回Young Investigator's Award
Clinical research部門
選考委員長
木村 剛(京都大学医学部附属病院循環器内科)
受賞者
《最優秀賞》
須田 彬(東北大学大学院医学系医学研究科循環器内科学)
Comprehensive Evaluation of Coronary Functional Abnormalities in Patients With Chest Pain and Unobstructive Coronary Artery Disease
《優秀賞》
後藤 信一(慶應義塾大学医学部循環器内科)
Artificial Intelligence With Recurrent Neural Network to Predict the Need for Urgent Coronary Revascularization from 12-Leads Electrocardiography in Patients With Chest Discomfort.
《優秀賞》
岩上 直嗣(国立循環器病研究センター研究推進支援部)
Optimal Sampling in Derivation Studies Determines Performance of Heart Failure Prognostic Models
《優秀賞》
永田 拓也(九州大学医学研究院循環器内科学)
N-Terminal Pro-B-Type Natriuretic Peptide

and Risk of Dementia in A General Japanese Elderly Population: the Hisayama Study

Basic research部門

選考委員長

斎藤 能彦(奈良県立医科大学循環器内科)

受賞者

《最優秀賞》

黒澤 亮(東北大学医学系研究科循環器内科学)

Identification of Celastramycin as A Novel Therapeutic Agent for Pulmonary Arterial Hypertension -High-throughput Screening of 5,562 Compounds-

《優秀賞》

杉田 純一(東京大学循環器内科)

Amphiregulin Derived from Cardiac Macrophages Prevents Lethal Arrhythmias

《優秀賞》

児島 秀典(慶應義塾大学病院循環器内科)

Mef2c Directly and Indirectly Amplifies Cardiogenic Program Cooperating With P300 in Direct Cardiac Reprogramming

《優秀賞》

谷 英典(慶應義塾大学病院循環器内科)

In Vivo Direct Reprogramming of Fibroblasts into Cardiomyocytes Improves Cardiac Function in Chronic Heart Failure

・第27回CPIS賞

選考委員長

三浦 哲嗣(札幌医科大学医学部循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)

受賞者

村岡 直人(慶應義塾大学医学部循環器内科)

Role of Cyclooxygenase-2/Prostaglandin E2/Prostaglandin E Receptor 4

Signaling in Cardiac Reprogramming

・第17回国際留学生Young Investigator's Award

選考委員長

塩島 一郎(関西医科大学内科学第二講座)

受賞者

《最優秀賞》

Hilman Zulkifli Amin(神戸大学循環器内科)

Overexpression of Cytotoxic T-lymphocyte-associated antigen-4 (CTLA-4) Protects against Abdominal Aortic Aneurysm Formation in Mice

《優秀賞》

Sari Nurmila(静岡県立大学分子病態学講座)

Cocoa Bean Polyphenols Inhibit Cardiac Hypertrophy and Dysfunction in Pressure Overload-induced Heart Failure Model

《優秀賞》

Fikri Taufiq(鳥取大学再生医療学)

Uric Acid-induced Increases of Protein and Channel Activity of Atrial Kv1.5 via

Akt-HSF1-Hsp70 Axis
 <優秀賞>
 Vijayakumar Sukumaran (国立循環器病研究センター)
 Liraglutide Treatment Improves the
 Coronary Microcirculation in Zucker Obese
 Rats on High-salt Diet
 <優秀賞>
 Zhongyue Pu (名古屋大学循環器内科)
 Lymphangiogenesis Contributes the
 Ischemia Induced Angiogenesis in HLI via
 Clearance of Inflammation
 ・第14回心臓血管外科賞
 選考委員長
 竹村 博文(金沢大学先進総合外科)
 受賞者
 吉田 昇平(大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科)
 Maturation of Human Induced Pluripotent
 Stem
 Cell - Derived Cardiomyocytes by Soluble
 Factors from Human Mesenchymal Stem
 Cells
 ・第14回小児循環器賞
 選考委員長
 三谷 義英(三重大学医学部附属病院周産母子センター)
 受賞者
 齋藤 純一(横浜市立大学医学部循環制御医学)
 Tissue-Type Plasminogen Activator
 Contributes to Remodeling of the Rat
 Ductus Arteriosus
 ・第13回循環器再生医科学賞
 選考委員長
 澤 芳樹(大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科学)
 基礎研究部門
 受賞者
 貞廣 威太郎(筑波大学医学医療系循環器内科)
 Tbx6 Induces Nascent Mesoderm from
 Pluripotent Stem Cells and Temporally
 Controls Cardiac Versus Somite Lineage
 Diversification
 臨床研究部門
 該当者無し
 ・第12回女性研究者奨励賞
 選考委員長
 副島 京子(杏林大学医学部附属病院第二内科)
 受賞者
 中山 敦子(東京大学医学部附属病院循環器内科)
 Cardiac Rehabilitation Protects Against the
 Expansion of Abdominal Aortic Aneurysm
 ・第8回循環器臨床研究奨励賞
 選考委員長
 山本 一博(鳥取大学病態情報内科学)
 受賞者
 臨床研究部門

宇都宮 裕人(広島大学病院循環器内科)
 冠動脈インターベンション適切性とリスク評
 価に関する日米共同大規模レジストリの構築と
 データ解析
 症例報告部門
 <最優秀賞>
 藤原 隆行(東京大学医学部附属病院循環器内科)
 Distinct Variants Affecting Differential
 Splicing of TGFBR1 Exon 5 Cause Either
 Loeys-Dietz Syndrome or Multiple Self-
 Healing Squamous Epithelioma
 <優秀賞>
 長谷川 奏恵(福井大学医学部循環器内科)
 Left Atrial Sarcoidosis as A Substrate For
 Peri-Mitral Atrial Flutter: An Unusual,
 Underlying Atrial Disease
 <優秀賞>
 紺野 亮(東北大学循環器内科)
 Immunosuppressive Therapy Ameliorates
 Refractory Vasospastic Angina, Severe
 Pulmonary Hypertension, and
 Bronchiolitis in A Patient With
 Eosinophilic Granulomatosis With
 Polyangiitis: A Case Report
 ・第6回循環器イメージング賞
 選考委員長
 木原 康樹(広島大学大学院医歯薬保健学研究科循環器内科学)
 受賞者
 <最優秀賞>
 大塚 憲一郎(ハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院
 ウェルマンセンターフォーフォトメディスン)
 Intravascular Polarimetry Characterizes
 Plaque Composition and Vulnerability in
 Patients With Coronary Artery Disease
 <優秀賞>
 相川 忠夫(北海道大学病院循環器内科)
 Effects of Coronary Revascularization on
 Global Coronary Flow Reserve in Stable
 Coronary Artery Disease
 <優秀賞>
 森山 典晃(湘南鎌倉総合病院循環器科)
 Neoatherosclerosis 5 Years After
 Bioresorbable Vascular Scaffold
 Implantation
 ・第9回コメディカル賞
 選考委員長
 陣崎 雅弘(慶應義塾大学放射線科学)
 受賞者
 検査・治療部門
 <最優秀賞>
 角谷 尚哉(北海道大学循環病態内科学)
 心不全患者を対象とした急性期離床プログラ
 ムの開発と運用

《優秀賞》

小野 仁(千葉大学臨床工学センター)
心房細動による植込み型除細動器の不適切作動は予測できるのか？

林 利廣(東京大学放射線部)
循環器領域における多施設線量調査

《奨励賞》

鳥居 裕太(徳島大学超音波センター)
カーフスリーブは下腿浮腫を軽減するか：表在エコー検査による検討

秋山 美紀(JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター薬剤部)
カテコラミンの持続投与が必要な重症心不全患者の外泊支援における薬剤師の介入

富永 宗一竜(高知大学検査部)
肥大型心筋症における加算平均心電図は心不全イベントの予測に有用である

看護・薬剤・リハ部門

《最優秀賞》

足立 拓史(名古屋大学リハビリテーション療法学専攻)
フレイル心不全患者における食欲低下には身体活動セルフエフィカシーと抑うつが関連する：多施設共同研究(FLAGSHIP)

《優秀賞》

岩崎 孝俊(みなみ野循環器病院リハビリテーション科)
心臓リハビリテーションによる心不全の運動耐容能改善と心外膜脂肪減少の関連性

小林 聖典(名古屋リハビリテーション部)
LVAD装着周術期における重症心不全患者の骨格筋機能回復経過に関する検討

《奨励賞》

横田 純一(東北大学障害科学専攻内部障害学分野)
うっ血性心不全急性増悪における嚥下障害合併は退院時アウトカムを悪化させる

内藤 喜隆(心臓病センター榊原病院リハビリテーション室)
経カテーテル的大動脈弁置換術後の再入院寄与因子に関する検討

山口 大輔(信州大学保健学科看護学専攻)
冠動脈疾患患者のタイプDパーソナリティに関する研究－抑うつに対するコーピング方略の特性－

・ Circulation Journal Awards for Volume 82, 2018
選考委員長

Toyoaki Murohara, M.D.
(Nagoya University Graduate school of Medicine, Nagoya)
受賞者

・ Clinical Investigation

《First Place》

Keiichi Hirono, MD
(Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, University of Toyama)
Clinical and Echocardiographic Impact of Tafazzin

Variants on Dilated Cardiomyopathy Phenotype in Left Ventricular Non-Compaction Patients in Early Infancy
(Circ J 2018; 82: 2609 – 2618)

《Second Place》

Kazuya Nagao, MD
(Department of Cardiovascular Center, Osaka Red Cross Hospital)

Acute Heart Failure in Patients With Severe Aortic Stenosis — Insights From the CURRENT AS Registry —
(Circ J 2018; 82: 874 – 885)

Ming-Shyan Lin, MD
(Department of Cardiology, Chang Gung Memorial Hospital)

The Unraveled Link Between Antiviral Therapy and Heart Failure Hospitalization in Chronic Hepatitis C Virus Infection — A Nationwide Cohort Study —
(Circ J 2018; 82: 1623 – 1631)

Kenzaburo Nakajima, MD
(Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center)

Clinical Manifestations and Long-Term Mortality in Lamin A/C Mutation Carriers From a Japanese Multicenter Registry
(Circ J 2018; 82: 2707 – 2714)

・ Experimental Investigation

《First Place》

Yuichiro Hirata, MD
(Division of Cardiovascular Surgery, Kurume University School of Medicine)

Activation of the AKT Pathway in the Ascending Aorta With Bicuspid Aortic Valve
(Circ J 2018; 82: 2485 – 2492)

《Second Place》

Ling-Yan Chen, MD
(Institute of Cardiovascular Research, Key Laboratory for Atherosclerosis of Hunan Province, Medical Research Center, University of South China)

MicroRNA-377 Inhibits Atherosclerosis by Regulating Triglyceride Metabolism Through the DNA Methyltransferase 1 in Apolipoprotein E-Knockout Mice
(Circ J 2018; 82: 2861 – 2871)

・ Asian Award

Ke Wan, MD
(Department of Cardiology, West China

Hospital, Sichuan University)

Increased Prognostic Value of Query
Amyloid Late Enhancement Score in
Light-Chain Cardiac Amyloidosis
(Circ J 2018; 82: 739 – 746)

・ Best Reviewers Award for 2018

Hideki Ishii

*(Nagoya University Graduate School of
Medicine, Aichi)*

Osamu Tsukamoto

*(Osaka University Graduate School of
Medicine, Osaka)*

Hiroshi Asanuma

*(Meiji University of Integrative Medicine,
Kyoto)*

Shin Ito

*(National Cerebral and Cardiovascular
Center, Osaka)*

Eitaro Kodani

*(Nippon Medical School Tama-Nagayama
Hospital, Tokyo)*

Naohiko Takahashi

(Oita University Faculty of Medicine, Oita)

Akiomi Yoshihisa

(Fukushima Medical University, Fukushima)

Takahiro Okumura

*(Nagoya University Graduate School of
Medicine, Aichi)*

Shoji Sanada

(Osaka University Hospital, Osaka)

Yoshihiro Seo

(University of Tsukuba, Ibaraki)

Shinsuke Miyazaki

*(University of Fukui Faculty of Medical
Sciences, Fukui)*

Takuya Kishi

(Kyushu University, Fukuoka)

Eiichi Watanabe

*(Fujita Health University School of
Medicine, Aichi)*

Shiro Nakahara

*(Dokkyo Medical University Saitama
Medical Center, Saitama)*

Kentaro Hayashida

(Keio University School of Medicine, Tokyo)

Junya Ako

(Kitasato University, Kanagawa)

Yasushi Mukai

(Kyusyu University, Fukuoka)

Takashi Kunihara

*(The Jikei University School of Medicine,
Tokyo)*

Masaharu Akao

*(National Hospital Organization Kyoto
Medical Center, Kyoto)*

Norihide Fukushima

*(National Cerebral and Cardiovascular
Center, Osaka)*

・ 日本心臓財団・日本循環器学会2018年「心臓」賞
選考委員長

山口 徹(虎の門病院)

《優秀賞》

大西 達也(四国こどもとおとなの医療センター
小児循環器内科)

総肺静脈還流異常修復術後の遠隔期に新たな
垂直静脈が発達した1例

(心臓 2018;50 (1) :75-82)

《優秀賞》

久馬 理史(社会医療法人母恋天使病院循環器内科)
冠動脈後遺症を伴わない川崎病既往成人の追跡
状況とその予後

(心臓 2018;50 (12) :1289-1293)

《優秀賞》

古谷 元樹(広島赤十字・原爆病院循環器内科)
胞状奇胎に伴う異常hCG高値により心不全をき
たした1例

(心臓 2018;50 (9) :1034-1040)

2. 第2回基礎研究フォーラム

(JCS-Council Forum on BCVR)

日本の循環器基礎研究の活性化を目標に公用語を
英語とした本フォーラムを開催した。

会期：2018年9月22日(土)～23日(日)

会長：斎藤 能彦(奈良県立医科大学循環器内科)

テーマ：Heart is Mystery

—生命の源は謎に満ちている—

会場：奈良春日野国際フォーラム~IRAKA~

参加人数：381名

プログラム

■ Keynote Lecture

・ Walter J Koch (Lewis Katz School of Medicine,
Temple University)

・ Thomas Eschenhagen (University Medical
Center Hamburg Eppendorf)

■ Award Session

・ Masahiro Yamazoe (Department of Bio-
informational Pharmacology, Medical
Research Institute, Tokyo Medical and
Dental University)

・ Hideaki Inazumi (Department of Cardiovascular
Medicine, Kyoto University Graduate school
of Medicine)

・ Kazutaka Miyamoto (Keio University School
of Medicine)

・ Kotaro Matsumoto (Laboratory of Clinical
Science and Biomedicine, Graduate School of

- Pharmaceutical Sciences, Osaka University)
- ・ Jin Endo (Keio University School of Medicine)
- Sponsored Symposium 1,2,3,4,5,6,7,8
- Poster Session
- Grant Session of Basic Research
 - ・ Yuichiro Arima (Department of Cardiovascular Medicine)
 - ・ Takuya Kumazawa (Cardiovascular Medicine)
 - ・ Yoshinori Katsunata (Keio University School of Medicine)
 - ・ Atushi Hoshino (Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto Prefectural University of Medicine)
 - ・ Wataru Kimura (RIKEN Center for Biosystems Dynamics Research)

3. 日本循環器学会地方会

- ① 第119回北海道地方会
会期：2018年6月23日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：三浦 哲嗣(札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)
参加人数：356人
発表演題：40題
- ② 第120回北海道地方会
会期：2018年11月24日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：長谷部 直幸(旭川医科大学)
参加人数：271人
発表演題：42題
- ③ 第166東北地方会
会期：2018年6月2日(土)
会場：アイーナいわて県民情報交流センター(盛岡市)
会長：富田 泰史(弘前大学 循環器腎臓内科学講座)
参加人数：307人
発表演題：72題
- ④ 第167回東北地方会
会期：2018年12月1日(土)
会場：仙台国際センター(仙台市)
会長：渡辺 昌文(山形大学 内科学第一講座)
参加人数：375人
発表演題：85題
- ⑤ 第248回関東甲信越地方会
会期：2018年6月9日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：萩原 誠久(東京女子医科大学循環器内科)
参加人数：1428人
発表演題：120題
- ⑥ 第249回関東甲信越地方会
会期：2018年9月22日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院)
参加人数：956人
発表演題：100題
- ⑦ 第250回関東甲信越地方会
会期：2018年12月8日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：清水 渉(日本医科大学 循環器内科学)
参加人数：1156人
発表演題：106題
- ⑧ 第251回関東甲信越地方会
会期：2019年2月2日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：山下 尋史(関東中央病院心臓血管センター・循環器内科)
参加人数：904人
発表演題：108題
- ⑨ 第151回東海地方会
会期：2018年6月30日(土)
会場：じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)(岐阜市)
会長：西垣 和彦(岐阜大学 循環病態学・呼吸病態学・第二内科)
参加人数：644人
発表演題：133題
- ⑩ 第136回北陸地方会
会期：2018年7月8日(日)
会場：富山国際会議場(富山市)
会長：絹川 弘一郎(富山大学 第二内科)
参加人数：241人
発表演題：78題
- ⑪ 第152回東海・第137回北陸合同地方会
会期：2018年10月20日(土)・21日(日)
会場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会長：三島 晃(名古屋市立大学 心臓血管外科)
大手 信之(名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学)
参加人数：796人
発表演題：130題
- ⑫ 第125回近畿地方会
会期：2018年6月30日(土)
会場：ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(大阪市)
会長：石原 正治(兵庫医科大学 冠疾患科)
参加人数：1283人
発表演題：234題
- ⑬ 第126回近畿地方会
会期：2018年11月24日(土)
会場：ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(大阪市)
会長：安田 聡(国立循環器病研究センター)
参加人数：1295人
発表演題：285題
- ⑭ 第113回中国地方会
会期：2018年12月1日(土)
会場：島根県民会館(松江市)
会長：城田 欣也(松江赤十字病院)
参加人数：407人
発表演題：148題
- ⑮ 第113回四国地方会
会期：2018年12月15日(土)
会場：香川県社会福祉総合センター(高松市)
会長：南野 哲男(香川大学 循環器・腎臓・脳卒中内科学)

参加人数：337人

発表演題：82題

⑯ 第112回中国・四国合同地方会

会期：2018年6月2日(土)・6月3日(日)

会場：広島国際会議場(広島市)

会長：三浦 俊郎(地域医療機能推進機構 徳山中央病院)

参加人数：894人

発表演題：204題

⑰ 第124回九州地方会

会期：2018年6月30日(土)

会場：かごしま県民交流センター(鹿児島市)

会長：大石 充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)

参加人数：350人

発表演題：131題

⑱ 第125回九州地方会

会期：2018年12月1日(土)

会場：アクロス福岡(福岡市)

会長：石川 司朗(福岡市立こども病院 循環器センター)

参加人数：651人

発表演題：162題

(2)学会学術誌、その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal刊行

- ① Circ. J. Vol.82 2018年は12冊3,107頁、原著投稿論文を含む2,835頁(91%)、その他272頁(9%)を掲載した。また、当会会員に対しVol82-5号より有償配布を開始し、平均発行部数約6,136部/月作製した。
- ② 2018年投稿論文は、受付1,395件(内有効論文1,388件)採用は267件、採択率25.1%であった。また査読にはEditorial Boardを含め920名(12号掲載)がその任務にあたった。

2. Circulation Reports刊行

- ① 2018年10月1日よりオンライン投稿を開始し、2019年1月10日に創刊(Online-only)した。
- ② 2018年投稿論文は受付60件(内有効論文52件)であり、新規投稿論文は56件、Circulation JournalからのTransfer論文は24件であった。採用は50件、採択率は96.1%であった。

3. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について、会員及び関係学会からの意見を踏まえ検討し対応開始。また、WHO・厚生労働省から依頼を受けているICD-11作成作業について委員派遣を行った。

4. 会告刊行

会告2018 No.2～No.4, 2019 No.1を発行した。

5. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」

を運営した。

6. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信した。

(3)学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する2,532施設に調査依頼を行い、Web登録システムを用いて調査を行い、1,561施設から回答を得た。調査対象期間は2017年1月～12月の1年間で、循環器研修施設および循環器関連施設から100%の回答を得ている。

2. DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業(JROAD-DPC)

JROAD参加施設の中から1,207施設を抽出し、DPC情報提供に関する参加意向をつのり、DPC情報の提供に同意した796施設よりデータ収集を行った。

3. JROADデータ利用研究公募

「日本の循環器病疾患医療の質の向上に資する研究」を目的として、JROADデータを利用する研究公募を行い、審査の結果13研究を採択した。

4. 脳卒中と循環器病克服5カ年計画事業における助成

2016年12月16日に制定された脳卒中と循環器病克服5カ年計画に基づき、5戦略の1つとして策定された人材育成を強化するために今後活躍が期待される若手医師研究者3名に「医師臨床研究助成」と基礎研究者5名に「基礎研究助成」と、メディカルスタッフ3名に「メディカルスタッフ研究助成」を贈呈した。

＜医師臨床研究助成＞3名

白石 泰之(慶應義塾大学医学部循環器内科)

吉田 尚史(神戸大学大学院医学研究科)

楠瀬 賢也(徳島大学病院循環器内科)

＜基礎研究助成＞5名

熊澤 拓也(奈良県立医科大学循環器内科)

勝俣 良紀(慶應義塾大学循環器内科)

星野 温(京都府立医科大学循環器内科)

木村 航(理科学研究所生命機能科学研究センター)

有馬 勇一郎(熊本大学循環器内科)

＜メディカルスタッフ研究助成＞3名

福井 奨悟(慶應義塾大学病院リハビリテーション科)

村山 迪史(北海道大学病院超音波センター)

塚田 裕也(久留米大学医療センター)

5. 学術研究班

- 1) 心疾患患者の妊娠・出産の適応、管理に関する

- ガイドライン(班長：赤木 禎治/池田 智明)
- 2) 先天性心疾患並びに小児期心疾患の診断検査と薬物療法ガイドライン(班長：安河内 聡)
 - 3) 安定冠動脈疾患の血行再建ガイドライン(班長：中村 正人/夜久 均)
 - 4) 心筋症診療ガイドライン(班長：筒井 裕之/北岡 裕章)
 - 5) 不整脈非薬物治療ガイドライン(班長：栗田 隆志/野上 昭彦)
 - 6) 急性冠症候群ガイドライン(班長：木村 一雄)
 - 7) 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン(班長：山岸 正和/玉木 長良)

6. ガイドライン

①作成と公開

以下7つのガイドラインについて、ホームページ上で公開した。

- 1) 心疾患患者の妊娠・出産の適応，管理に関するガイドライン(班長：赤木 禎治/池田 智明)
- 2) 先天性心疾患並びに小児期心疾患の診断検査と薬物療法ガイドライン(班長：安河内 聡)
- 3) 安定冠動脈疾患の血行再建ガイドライン(班長：中村 正人/夜久 均)
- 4) 心筋症診療ガイドライン(班長：筒井 裕之/北岡 裕章)
- 5) 不整脈非薬物治療ガイドライン(班長：栗田 隆志/野上 昭彦)
- 6) 急性冠症候群ガイドライン(班長：木村 一雄)
- 7) 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン(班長：山岸 正和/玉木 長良)

第83回学術集会時に3つの「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催した。

「ガイドラインに学ぶ1」

- 1) 急性冠症候群ガイドライン(2018年改訂版)(班長：木村 一雄)
- 2) 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン(2018年改訂版)(班長：山岸 正和/玉木 長良)
- 3) 安定冠動脈疾患の血行再建ガイドライン(2018年改訂版)(班長：中村 正人/夜久 均)

「ガイドラインに学ぶ2」

- 1) 心筋症診療ガイドライン(2018年改訂版)(班長：筒井 裕之/北岡 裕章)
- 2) 不整脈非薬物治療ガイドライン(2018年改訂版)(班長：栗田 隆志/野上 昭彦)

「ガイドラインに学ぶ3」

- 1) 心疾患患者の妊娠・出産の適応，管理に関するガイドライン(2018年改訂版)(班長：赤木 禎治/池田 智明)
- 2) 先天性心疾患並びに小児期心疾患の診断検査と薬物療法ガイドライン(2018年改訂版)(班長：安河内 聡)

②ガイドラインの英語版作成

既存のガイドラインのうち、次の2件を英訳化し、CJ誌に公表，ホームページ上で公開した。うち、1件は日本語版と同時公開で発表された。

- 1) 肺高血圧症治療ガイドライン(2017年改訂版)(班長：福田 恵一)
- 2) 急性冠症候群ガイドライン(2018年改訂版)(班長：木村 一雄)

また，下記3件は随時CJ誌での公表およびホームページ上で公開を予定している。

- 1) 感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(2017年改訂版，ダイジェスト版)(班長：中谷 敏)
- 2) 急性・慢性心不全診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長：筒井 裕之)
- 3) 血管炎症候群の診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長：磯部 光章)

7. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し，あるいは医師主導型臨床試験を支援する。

- ① 周産期(産褥)心筋症の発症に関する登録研究(PREACHER：主査 池田 智明)

8. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学検討会が主導して行う心原性ショックに関するレジストリは，2014年6月に新規登録を締切り，レジストリ参加施設から組成した解析班において解析作業を行い，AHAおよび第83回学術集会において発表を行った。引き続き解析を行う。

9. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って，海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に募集を行った。原 弘典(東京大学循環器内科)

(4)交流事業

1. 国内交流

- ① 諸学会主催の学術集会または準ずる講演会において，ジョイントセッションを開催した。
- ② ICD-CRT研修制度協議会において，前年度から継続審議であったテキストのPDF化，規約の変更についての検討ならびに諸問題の対応を協議した。

2. 国際交流

1. 国際交流事業
 - ① 海外学会(OCC・ESC・AHA)へブース出展を行った。
 - ② 第83回学術集会開催時にAHA，ACC，CSC，KSC，ESCとの共同シンポジウム(Meet the ESC1,2) APSCを企画し，開催した。

- ③ APSC (Asian Pacific Society of Cardiology) の理事として、代表理事 (Zone Vice President) と、渉外委員会 (国際) 委員長 (Councilor) が総会及び理事会に出席した。
- ④ APSC2020, WCC2021を招致することが決定した。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

(1)循環器専門医事業

- ① 循環器専門医認定のための第29回循環器専門医試験を2018年8月19日(日)パシフィコ横浜(神奈川), 梅田スカイビル(大阪)の2会場で実施した。認定者は518名(2019年4月1日認定)。
- ② 2019年4月1日に循環器専門医資格を更新予定の循環器専門医2,293名の更新が承認された。
- ③ 循環器専門医を目指す会員の臨床研修のための研修施設・研修関連施設の指定および指定更新審査を行った。2019年4月から研修を開始する新制度に合わせて、従来の旧制度とは別に新制度認定(学会の一次審査)を行った。新・旧制度は当面は並行で運用する。実動の旧制度認定施設は研修施設1,017, 研修関連施設336, 新制度認定施設は研修施設1,002, 研修関連施設314となった。
- ④ 専門医編集委員会から、『循環器専門医』Vol.27を発行した。今年度より年1回の発行となった。特集Ⅰ「第82回日本循環器学会学術集会」特集Ⅱ「基礎科学の進歩」
- ⑤ 新専門医制度については、基本領域学会や関係学会と協議を行い、制度及びシステムの検討を行った。

※②の更新者に関しては、2019年3月開催の第83回学術集会が更新対象単位となっているため一部審査中となり2019年3月8日現在の情報を記載していますことをご了承ください。

(2)循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第14回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの企画・開催

2018年7月22日(日)千里ライフサイエンスセンターにて、主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー、ディベート、グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催した。

2. 教育研修用DVDの製作・販売

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として「第46回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行った。

3. 教育研修用e-ラーニングシステムの構築

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として教育研修e-ラーニングコンテンツの拡充ならびにメンテナンスを行った。

4. 第4回臨床研究デザインと統計解析合宿の企画・開催

2018年11月1日(木)～3日(祝・土)軽井沢にて、会員を対象とした2泊3日の研修合宿を開催した。研修では講義の他、グループワークや研究成果の報告等も行われた。

5. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催した。

- ・AHA BLSプロバイダーコース
- ・AHA ACLSプロバイダーコース
- ・AHA ACLS-EPプロバイダーコース
- ・AHA ハートセイバーAEDコース

インストラクター養成のため次の各講習会を開催した。

- ・AHA コアインストラクターコース
- ・AHA BLSインストラクターコース
- ・AHA ACLSインストラクターコース
- ・AHA ハートセイバーインストラクターコース
- ・AHA ACLS-EPインストラクターコース

ACLSヘルスケアプロバイダーコースについて、蘇生ガイドライン2015に対応するコース開催を行う為、インストラクター向けの勉強会を各地で開催した。コース運営における検討/議論として、AHA担当者との会合をシカゴ(USA), 横浜にて開催した。

6. コメディカルセミナーの開催

メディカルプロフェッショナルへの教育・啓発を目的として、第15回・第16回コメディカルセミナー「明日から役に立つ知識をあなたに～これでわかる！不整脈のみかた～」をテーマとして開催した。

- ① 第15回コメディカルセミナー
日時：2018年7月28日(土)10:00-16:00
会場：パシフィコ横浜(横浜市)
- ② 第14回コメディカルセミナー
日時：2018年8月19日(日)10:00-16:00
会場：大阪国際会議場(大阪市)

7. ダイバーシティ推進に関する事業

- ① 第13回ダイバーシティ推進委員会セミナー「男女共同参画のアウトカムを考える」を2018年10月20日に第152回東海・第137回北陸地方会(名古屋国際会議場)で開催した。
- ② 第14回ダイバーシティ推進委員会セミナー「多様性のある働き方を考える-ダイバーシティって何?-」を2018年12月1日に第167回東北地方

会(仙台国際センター)で開催した。

- ③ Travel Award for Women Cardiologists (JCS /TAWC)
循環器学会女性会員のキャリア支援を目的として国際学会において女性筆頭者が発表する優秀演題を顕彰した。

第4回(ESC2018 Munich)

Prevention of tumorigenesis in human pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes by immunological cytotoxicity against oncofetal antigen

岡田 麻里奈(慶應義塾大学循環器内科)
Interleukin-22 deletion promotes cardiac rupture after acute myocardial infarction in mice

山本 真衣(久留米大学循環器病研究所)

第5回(AHA2018 Chicago)

Prognostic Value of Discharge Plasma Adrenocorticotrophic Hormone Levels in Patients Hospitalized for Acute Decompensated Heart Failure: the NARA-HF (Nara Registry and Analyses for Heart Failure) III study

川上 利香(奈良県立医科大学循環器内科)
Myocardial Technetium-99m sestamibi washout rate is useful to predict left ventricular reverse remodeling in patients with dilated cardiomyopathy

千村 美里(大阪大学循環器内科学)

- ④ 学術集会一般演題における女性座長について、第83回では12.9%となった。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

(1)心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植等に関する事業

- ① 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出した。
- ② 心臓移植の適応について、新規申請、再申請の検討を行った。
- ③ 心臓移植について一般市民に理解を深めてもらうため2018年11月24日に市民公開講座を開催した。
- ④ 心臓移植適応検討症例の追跡予後調査を実施した。
- ⑤ 心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会で、小児心臓移植実施施設認定について国立成育医療研究センター、九州大学病院、成人心臓移植実施施設認定について千葉大学附属病院、京都大学医学部附属病院が心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会で審議された。千葉大学附属病院においては、移植関連学会合同委員会に上審し、

移植実施施設として認定された。

- ⑥ 心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会で、心臓移植実施施設の責任者交代時における審査が行われ、国立循環器病研究センター、埼玉医科大学国際医療センター、東京女子医科大学病院、九州大学病院は継続して認定することが決定した。北海道大学病院について審査が実施された。岡山大学病院から成人心臓移植実施施設認定辞退の申し入れを了承し、移植関係学会合同委員会へ報告した。
- ⑦ 心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会で、成人心臓移植実施施設認定基準における再評価(5年毎)の実施が決定し、国立循環器病研究センター、大阪大学医学部附属病院、東京女子医科大学病院について審査が行われた。

(2)社会への広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

新聞、医療系情報誌のプレスを通した一般市民への啓発を目的として、セミナーを開催。2018年度は以下のテーマで8回開催した。(2015年度からの継続事業)

- 第40回 こうすれば安全に行える心不全の運動療法 ―筋トレとウォーキング―
- 第41回 大動脈疾患における最新の治療戦略～従来手術、ステントグラフト治療、ハイブリッド手術～
- 第43回 急性心筋梗塞の治療と啓蒙活動
- 第44回 心筋梗塞のプレホスピタルケア～救命率のさらなる向上のために～
- 第45回 “ストップCVD” part 2: 受動喫煙から命を守るために
- 第46回 脈をチェックしよう。そして、不整脈だったら。
- 第47回 生活習慣病と心房細動-
- 第48回 心房細動とフレイル

2. 学術集会広報ブース展示

第83回学術集会展示会場において、各委員会事業の展示・活動報告を実施した。

3. 心不全啓発キャンペーンの推進

ハットリシンゾウくんを用いた心不全の啓発用動画を作成し、YouTubeおよび市民公開講座等で放映を実施した。

4. 禁煙ガイドブックの販売

禁煙指導のための教材として使用する禁煙パスポート、DVDの有償販売・ポスターの無償提供を行った。

5. 禁煙相談ブースの出展

市民向けイベントにブース出展を行い、禁煙相談

会を行った。

6. 心肺蘇生法市民公開講座

第83回学術集会期間中に、心肺蘇生法市民公開講座を開催した。

7. ファミリー&フレンズコースの開催

心肺蘇生法に関する市民向けコースを計10回開催した。

8. 学会ホームページ・Twitterの運営

学会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページ・Twitterに掲載した。

9. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態や、診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行った。

10. 医療安全に関する事業

医師推薦依頼および医療事故調査制度に対応した。

11. 倫理に関する事業

- ① 論文撤回等に関して著者への調査ヒアリングを実施し、見解を纏めた。
- ② 学術集会演題登録時の倫理審査の規定を作成。また、学会内研究における倫理審査を実施した。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 脳卒中と循環器病克服5カ年計画

目標達成に向け「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民啓発の促進」「基礎研究の強化」の5戦略を担当する委員会で計画の実施を行った。

2. 脳卒中・循環器病対策基本法制定のための活動

11月21日に「脳卒中・循環器病対策基本法の今国会での成立を求める患者・家族・医療関係者の会」（議員110名（うち代理52）、患者会・団体88名が出席）を参議院議員会館にて開催し、12月10日に衆議院本会議で本法案が可決・成立した。

3. 新会員システム構築の検討

新専門医制度や現システムの課題に対応した新システムの検討を行い、会員向けにポータルサイトを構築した。

4. FJCS制度

会員の学会活動への活発な参画により本会をより活性化させるため、フェロー会員の募集・審査を行った。

Circulation Journal Vol. 82刊行状況（編集委員会）

	論文数	頁数	その他頁数	頁数計
No. 1	40	295	3	298
2	41	295	17	312
3	42	306	18	324
4	33	264	19	283
5	34	242	20	262
6	31	216	29	245
7	33	236	11	247
8	32	224	18	242
9	23	140	95	235
10	33	217	21	238
11	32	228	11	239
12	27	172	10	182
計	401	2835	272	3107

Circulation Reports Vol. 1 刊行状況（編集委員会）

	論文数	頁数	その他頁数	頁数計
No. 1	7	39	8	47
2	14	78	0	78
3	6	31	2	33
計	27	148	10	158

『循環器専門医』刊行状況（専門医制度委員会）

	本文頁数	専門医News頁数	頁数計
Vol. 27	157	11	168
計	157	11	168

2018年度事業報告 附属明細書

2018年度事業報告においては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

以上